

RESTECフォーラム2022
～New Trends of Remote Sensing～
リモートセンシングの新たな潮流

RESTECの現在と今後の展望

経営企画部 山本彩



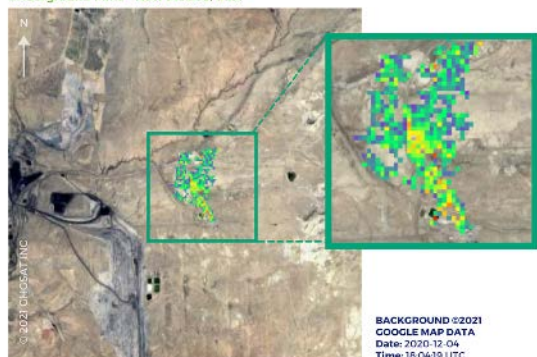
リモートセンシングの新たな潮流

昨年度は、「Remote sensing Transformation」として、チャンピオンデータによるデモンストレーションの時代から、データの高頻度化・高精度化の時代に向けたアプローチについてご報告させていただきました。

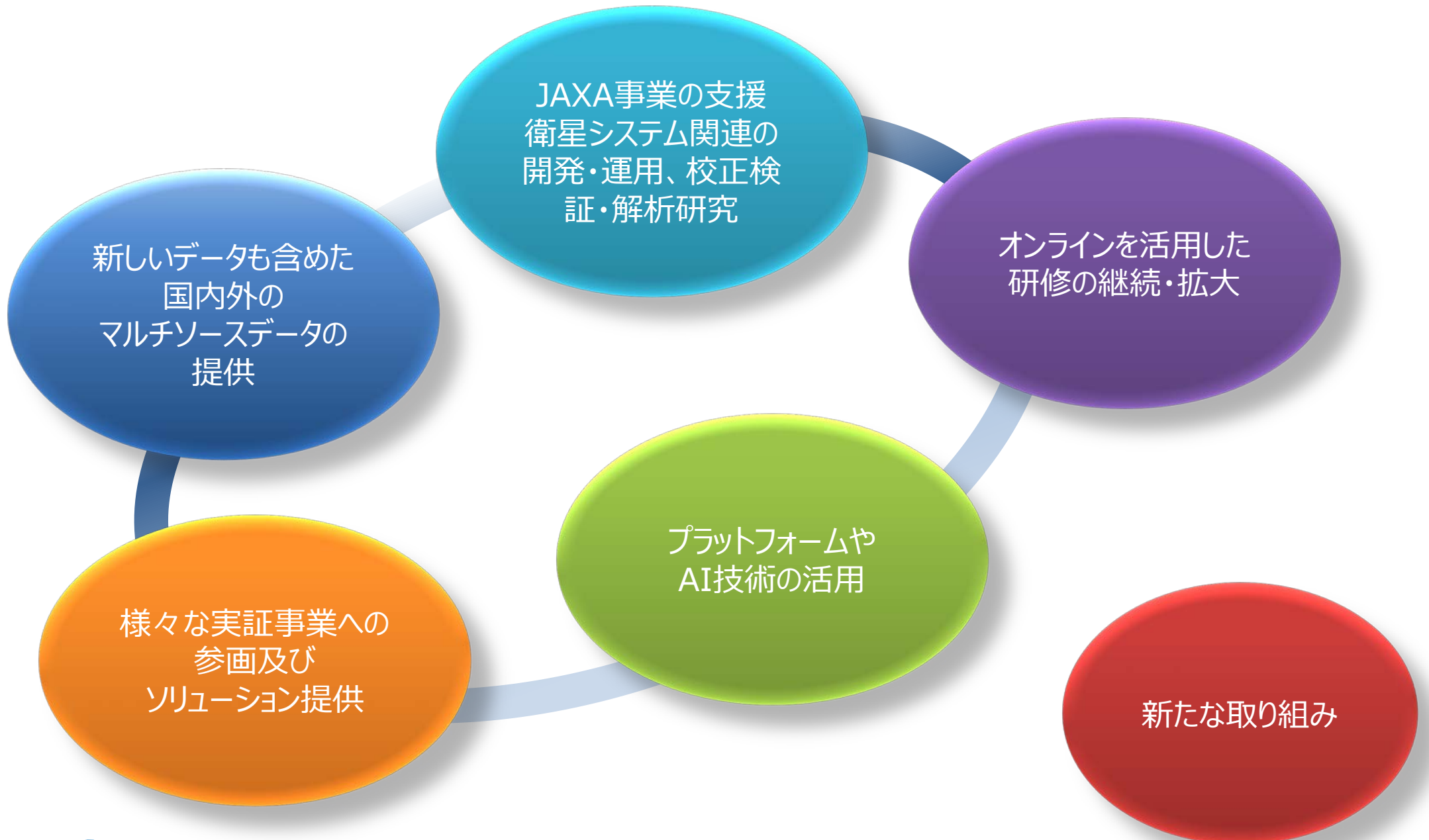
今年度は、実際に高頻度化・高精度化しつつある、新しい衛星データや新しいデータ提供のあり方を含めて、「リモートセンシングの新たな潮流」と題して、現在のRESTECの事業や今後に向けた取り組みをご紹介します。

Satellite CH₄ Measurement

Underground Mine - New Mexico, USA



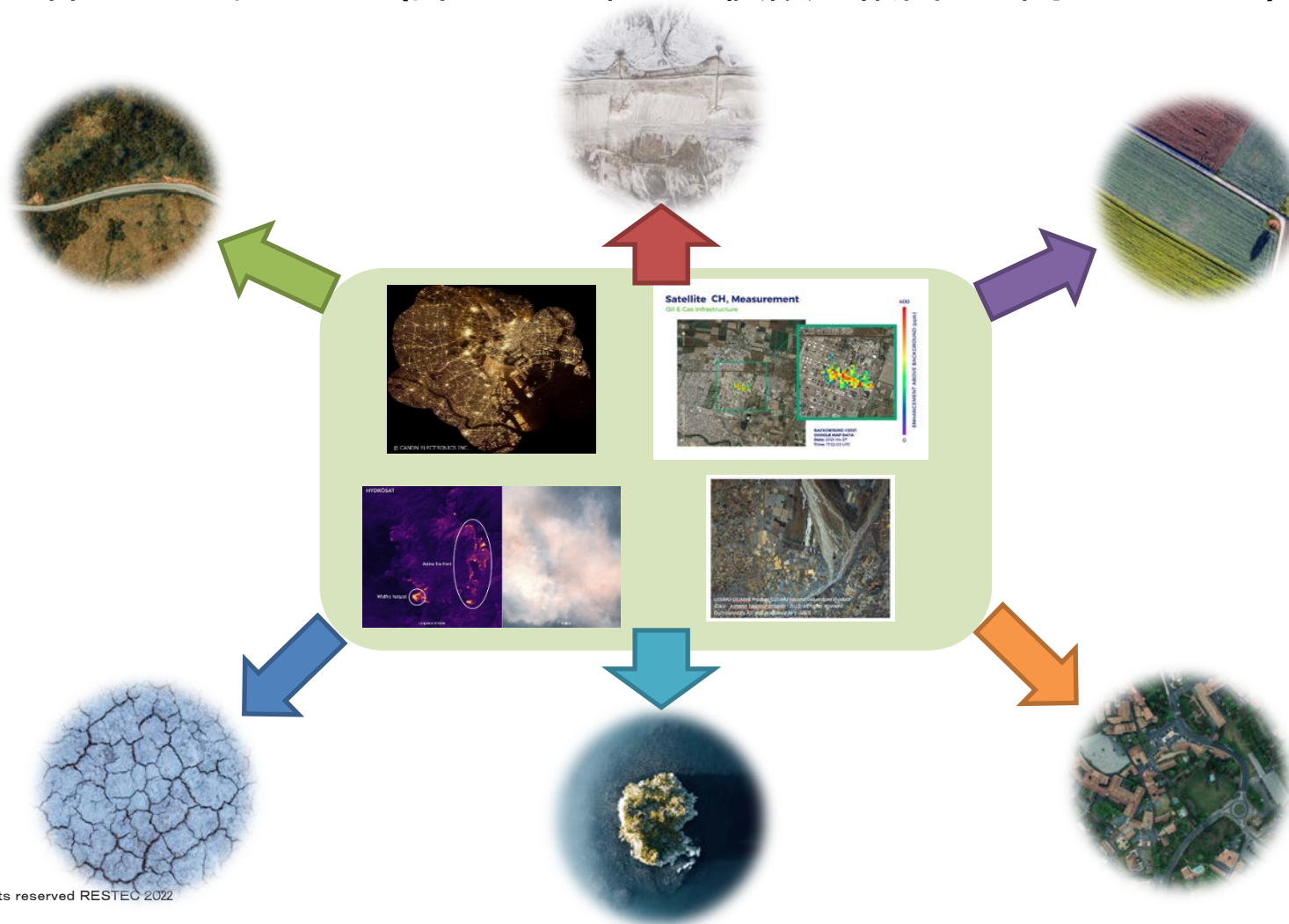
RESTECが現在取組んでいる事業の概要



RESTECが現在取り組む事業

(1) マルチソースデータと技術による社会課題の解決

RESTECは、設立当初より衛星データの提供事業を行っており、現在では取り扱いのある衛星の国籍・種類に関しては国内随一の多様さを自負しております。近年、新しい衛星だけでなく、提供形態も様々に変わってくる中、引き続き皆様の必要とする衛星データを迅速にお届けすべく、新しいパートナーも次々と増やしております。（詳しくは、本日の後段の報告をお聞きください。）



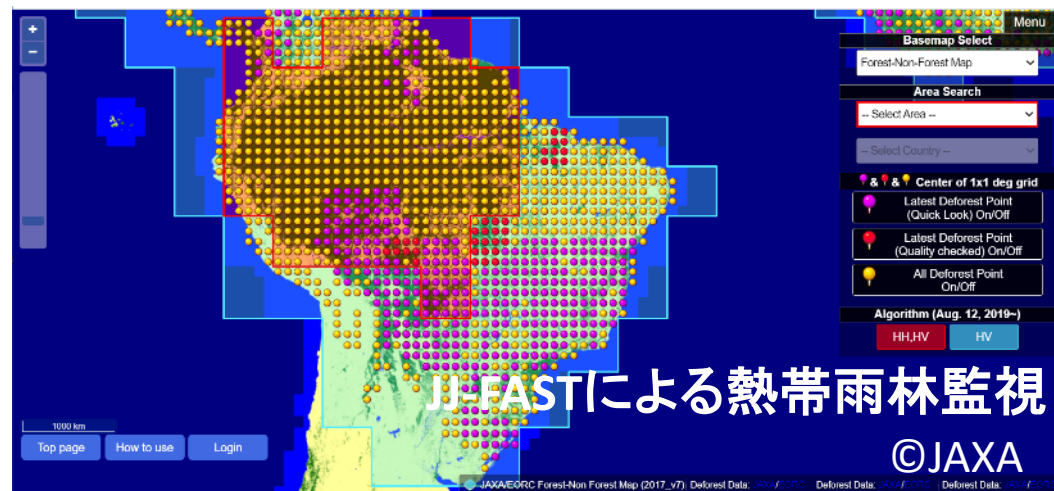
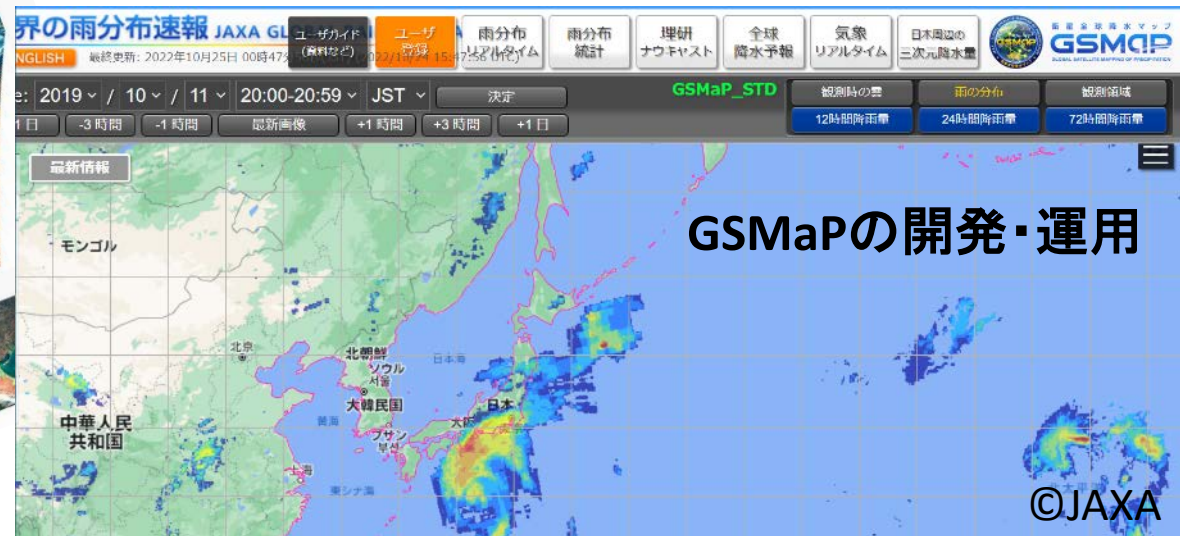
RESTECが現在取り組む事業

(2) JAXAの地球観測衛星関連事業の支援

地球観測衛星に関する開発、運用、校正検証、解析研究、普及促進といった業務を通じて、RESTECは創立以来、JAXAの地球観測衛星関連事業の支援を幅広く行っています。

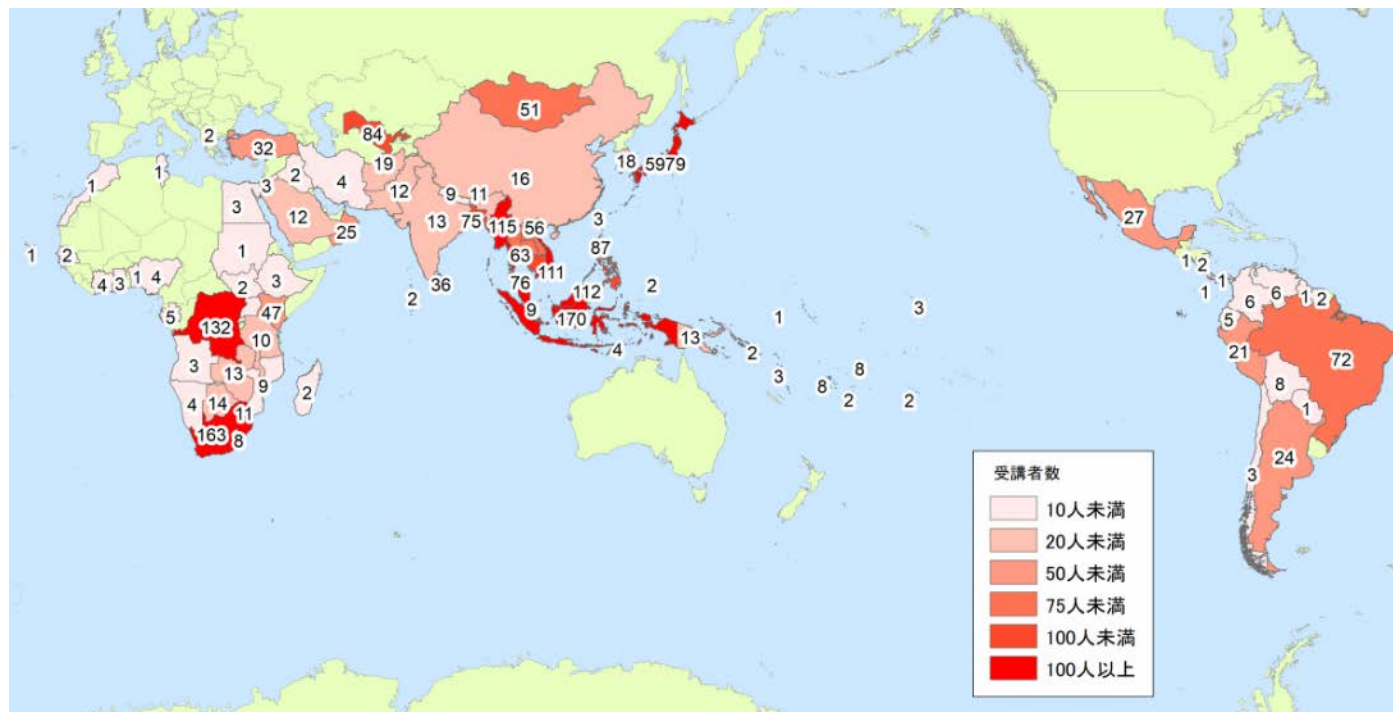


GCOMインスタ画像の作成



(3) オンラインを活用した人材養成事業

新型コロナの影響はまだ収束の兆しを見ませんが、RESTECではこの機会をチャンスと捉え、引き続きオンラインを活用した研修の充実・拡大にも積極的に取り組んでいます。



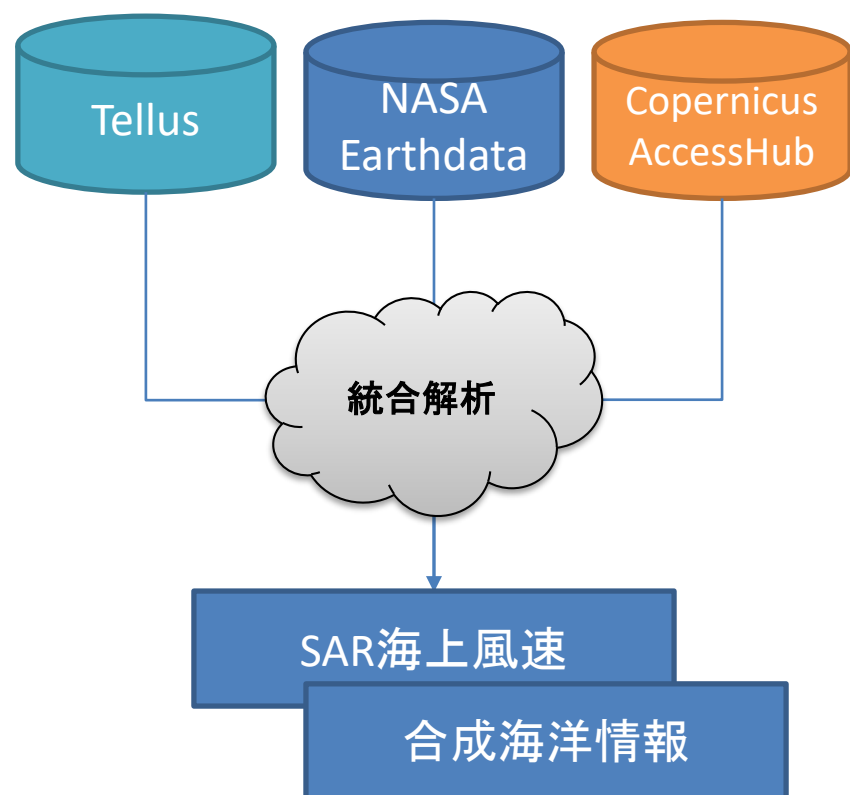
2022年3月末での研修受講者数は、89の国や地域 8,391名となっており、オンラインでの受講者数も増え続けています。また、ウェブブラウザさえあればデータもソフトも手元になくても解析ができる、「VEGA」も開発し、無償で提供するなど、リモートセンシング技術の普及に取り組んでいます。

RESTECが現在取り組む事業

(4) クラウド等のプラットフォームの活用

クラウド上のプラットフォームによるサービスの提供に向けた技術開発や実証事業にも取り組んでいます。

今年度は、「政府衛星データプラットフォーム「Tellus」に実装する アプリケーション/解析ツールの開発及び実証事業」へ、RESTECの参画するプロジェクト「**複数衛星による海洋情報の合成ツール／SAR衛星による海上風速算出ツール**」が採択されたのがその一例です。



(5) リモートセンシング技術の社会実装の推進

RESTECでは、様々なパートナーと多様な分野において、国の実施する実証事業にも参画し、リモートセンシング技術の社会実装に向けた取り組みを推進しています。

経産省 産業技術実用化開発事業費補助金（宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業）

令和四年 『高分解能光学衛星画像とAIによる固定資産異動調査効率化』

内閣府モデル実証プロジェクト

令和元年 『衛星データを活用したワイン用ブドウ精密栽培システムの高度化』
『衛星データとIoT農業機械による国産パン小麦高収益生産の実証』

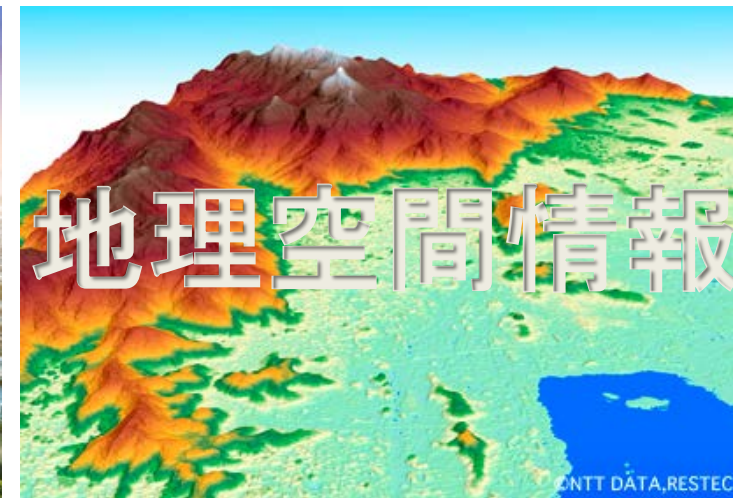
令和二年 『宇宙と地上の新しい計測手法による都市計画基本図更新手法の実証』

令和三年 『衛星画像とSNS画像を活用した「24時間365日働く」災害監視システムの開発実証』
『衛星データによる都市デジタルツインを活用したお祭りXR体験の実証』
『人工衛星画像データを活用した市役所業務の効率化に向けた実証』

令和四年 『衛星データによる「ずっと、400年」の先へ続く醤油原料の地産化』

RESTECの新しい取り組み：パートナーの更なる拡大

RESTECは、社会の様々な課題・ニーズに対応すべく、これまで衛星データを使っていない、衛星データのことをあまりよく知らない組織・業界にも積極的に声をかけ続けてまいります。



RESTECの新しい取り組み：研究助成


RESTECは地球観測衛星等によるリモートセンシング技術のさらなる普及を目指し、社会経済の発展や人々の生活の豊かさに寄与することを目的として、研究助成を始めました。

2021年度は7月に公募を開始し、21件の応募を頂き、有識者等審査委員による厳正な審査を経て、8件を採択しました。次年度以降も引き続き公募を行う予定です。



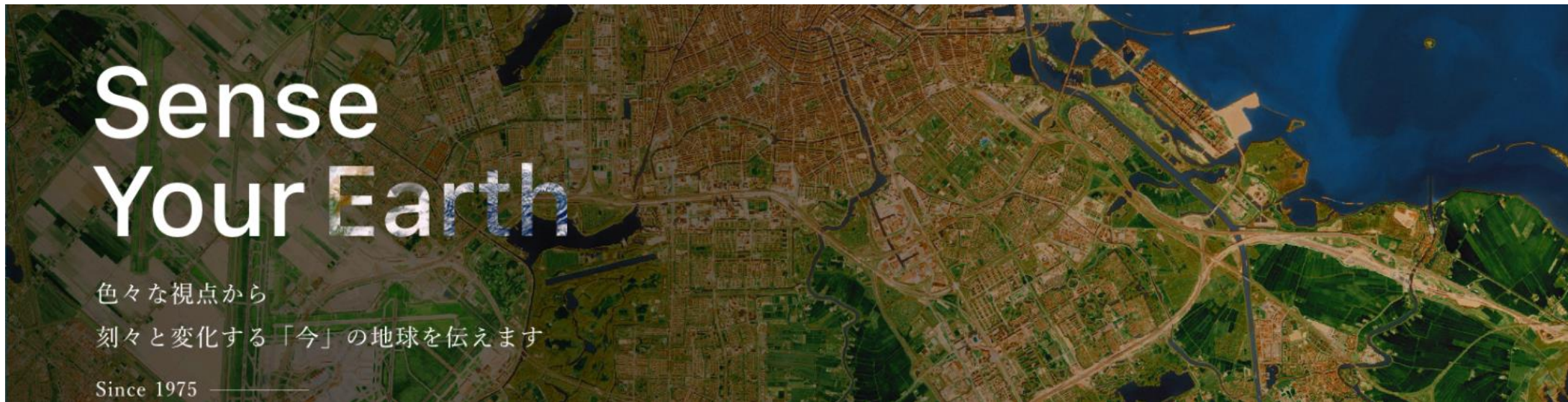
受付期間：
2022年7月1日～29日

**研究助成
応募受付開始**



©NASA

RESTECの今後の展望



RESTECは、国の内外を問わず、研修事業やリモートセンシング技術の普及促進のための活動など、一般財団法人としてこれまで実施してきた公益目的事業を引き続き着実に実施しつつ、様々なニーズを踏まえたりリモートセンシング技術の社会実装の推進に向けて、マルチソースによるデータ提供や実証事業に取り組むことで、これからもリモートセンシング技術を通じた豊かな社会の形成を目指していきます。





RESTEC
Sense your Earth